

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金を市民にわかりやすく運用するために</p> <p>【質問趣旨】 本市では、瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金を設置しましたが、市民からの寄附の受け皿としていることから、施策の財源としては不安定な要素が多く、即効性が必要な施策については、財政調整基金から直接支出しているというのが現状です。この基金をより実用的なものとすることを目標に質問していきます。</p>	<p>(1) 瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金の現況について</p> <p>(2) 瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金の今後について</p>	<p>① 本市では、令和2年第1回臨時会での議決を経て、瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金が設置されました。設置時に1千万円を積み立て、第2回臨時会において、飲食店活動再開応援事業に360万円の繰入を行い、640万円の基金残高となりました。市民からの寄附の状況も含め、基金の積立予定、繰入予定について伺います。</p> <p>② 今後、瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金の具体的な用途については、客観的妥当性を確保するためにも、調査・統計・分析を基に決めていくことが重要と考えますが、どのように用途を決定していく予定なのか伺います。</p> <p>③ この基金は、市民からの寄附の受け皿ともなるため、その用途については、より一層の説明責任が生じると考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ 市民からの寄附については、その額、時期ともに不確定であり、寄附する市民にとっても、どのような使い方がされるか不明確であります。事業への評価は市民それぞれであり、事業によっては寄附をした市民の意図とそぐわない可能性もあります。それらの課題解消のため、クラウドファンディングの手法のように、寄附を受け付ける時期と目標額を段階的に設定し、その段階に応じた用途(支援策・救済策)を示せば、市民からも用途が明確でわかりやすい基金になるのではと考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。